

刻石流水

京都府立東宇治高等学校

第3学年 学年通信

第 1 号

令和8年4月8日

～受けた恩義は心の石に刻み、施したことは水に流す～



学年部長 6組 川越俊輝（数学）

答えを得るその前に・・・

高1, 2の2年間でさまざまな授業を廊下から見てきました。グループワーク等の活動が多くの授業で取り入れられ、一方向的ではない工夫された現代の授業の中で、生き活きと主体的に学ぶ皆さんの姿を見ることができました。4月から始まる授業にて、よりグループワークの時間を有意義なものとしてみませんか？意見交流の場では、一言目はそのグループの話題の方針を決定づけます。当たり障りなく、大多数の人が思いつくような意見で交流し、安心を共有するのではなく、独自の目線で切り込んだ考えをグループに提供できるように心がけてみてください。そのためには、普段の学習などの中で、答えを得るその前に、今自分が持ち合わせている知識や能力で最適解を導き出してみましよう。自身の中に眠る新たな視野に気付くかもしれません。

1組 谷口博一（数学）

夢の実現に向けた学年が始まります。「夢が多いことは幸せ」と考えています。実現すると夢ではなくなり、夢が減ってしまうのではないかと。複雑な気持ちになります。夢がひとつ実現したら、新しい夢をふたつ追加しましょう。そうすれば、夢は増え続け、幸せがどんどん膨らみます。充実した1年になるよう、ともに歩みましょう。

2組 近藤和郎（国語）

このたび3年2組の担任になりました、近藤和郎（こんどうかずお）と申します。よろしくお願ひします。いよいよ最終学年ということで、生徒の皆さんはやる気に満ちていると思います。毎時間の授業が、毎日の部活動が、毎回の仲間との交流が、あなたという人間を形作ります。これまでがそうだったように。ぜひ悔いのないよう、全力で一年間を駆け抜けてください。私たちも全力でサポートします。幸運の女神の前髪をつかみましょう！

3組 小野輝弥 (英語)

この3月に自分が大学生の頃から聞き続けていたラジオ番組が終わりました。テレビやラジオの番組は、出演者の意図しないタイミングで突然打ち切りを言い渡されることがほとんどだそうです。皆さんの卒業式は来年の3月1日と既に決まっています。終わりの示されたこの有限な時間でたくさん青春を送ってください。「青春」は楽しいことだけでなく、たくさん悩み苦しみ成長する時間であることもお忘れ無く。今年もこの学年の皆さんと共に成長できることを嬉しく思います。

4組 川本容子 (国語)

進級おめでとう。今日から3年生の生活がスタートしますね。皆さんが今もっとも気になっているのは進路のことでしょうか。進路希望が漠然としている人や迷っている人、進路希望の実現に向けて何をすればよいかわからず不安に思っている人など、それぞれが悩みを抱えていることと思います。しかしそれは恥ずかしいことではありません。なぜなら不安や悩みは、何とかしたいという気持ちから生じるものだからです。

“No Rain, No Rainbow” (雨が降らなければ虹は現れない)
粘り強く歩みを進めていきましょう。

5組 蔵田遥 (地歴公民)

今年は地理総合にチャレンジしたいと思い、春休みに地理を勉強していました。赤道付近で発生した上昇気流が風を生み、風が海流を生み、海流の流れる向きによって陸地の気候が変わり、人々の生活様式が変わる。なんて面白いんだ！と思いました。最終学年なので、「受験」という圧力がちらつきませんが、純粋に新しいことを知る、本来の勉強の楽しさも忘れてほしくないと思います。

7組 朱久美子 (英語)

AIが発達して、色々なことをやってくれるようになりました。勉強の仕方や友達の作り方、将来の進路についてもアドバイスをくれることもあります。でもどれだけAIを活用しても、インターネットを検索しても、分からない事があります。それは「あなた自身のこと」。自分がどんな人生を送りたいのか、それはあなたにしか分かりません。SNSのどこにも、その答えはありません。この物語の主人公はあなたです。どこへ行き、どう生きるのか、決めるのはあなたです。来年の今頃、どこで春を迎えたいですか。その想いを、今年一緒に叶えましょう。